



## 野菜とタオルを寄贈

地域住民との交流や地産地消運動の一環として、女性部能代支部は市内3カ所の老人保健施設へ、採れたての野菜とタオルの寄贈を行いました。

この取り組みは毎年行われており、女性部員が愛情込めて栽培したカボチャやジャガイモなどを各施設へ配達しました。このうちJAデイサービスセンターいなほの里には、佐々木

→女性部員の協力で  
たくさん野菜とタオルが集まりました



博子女性部長が訪れ、「今年もみなさんの元気な姿を見ることができてとてもうれしい。皆さんの笑顔で私も元気になります。採れたての野菜をいっぱい食べて、これからも健康に過ごしてください」と話して手渡しました。



## 研修親睦旅行



能代・藤里フレッシュ合同の日帰り研修親睦旅行が、9月12日に開催され8名の会員が参加しました。

弘前市の直売所「野市里」を見学したあと、「津軽ゆめりんごファーム」でりんご狩りとジャム作り体験をしました。ここで栽培されているりんごは無農薬栽培で、素材そのままの味を楽しみました。会員からは「りんごを丸かじりしたのは小学校以来でした。日本一の産地のりんごはとてもおいしかったです」といった感想が聞かれました。その後、自分たちが穫ったりんごで手作りジャムを作り、手作りのラベルを

貼り世界で1つだけのジャムが出来ました。合同研修という事でお互いの親睦も深め、また、おいしいものを食べることで身も心もリフレッシュした研修旅行となりました。

## 料理講習会を開催

JAあきた白神女性部能代支部（佐々木博子支部長）は9月4日、働く婦人の家で料理講習会を開催しました。

講習会には部員26名が参加し、「とうもろこしご飯」、「サバ缶のみそ汁」、「みょうがとハムのフレンチサラダ」、「みょうがの肉巻きフライ」など計7種類の料理を作りました。部員たちは、グループごとに協力し、手際よく料理を作っていました。試食会では「みょうが

→女性部のアイデア料理の数々



はいつも薬味として使っていたが、今日は主役となっておいしく食べることができました」といった感想が聞かれ、和気あいあいとした雰囲気の中、部員は料理講習会を楽しんでいました。

